

## CDPウォーター企業調査で初めて最高評価「ウォーター2018 Aリスト企業」に認定

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、以下 LIXIL グループ）は、国際的な非営利団体 CDP<sup>※1</sup> が実施する水資源管理に関する調査において、優れた取り組みを実施している企業として最高評価の「ウォーター2018 A リスト企業」に初めて認定されました。今回、全世界で 27 社、日本では 8 社が「ウォーター2018 A リスト企業」に選ばれました。

CDP は、ESG（環境・社会・ガバナンス）情報の重要性が高まる中で、多数の機関投資家と協働して、世界の主要な企業を対象に気候変動や水資源、森林保全に関する事業リスクや事業機会などの情報を毎年収集・分析し、その結果を公表しています。

LIXIL グループは、コーポレート・レスポンシビリティ（CR）戦略として「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」の3つの分野に焦点をあて、取り組みを進めています。



そのうち、水資源に関する LIXIL グループの取り組みは以下の通りです。  
「水の保全と環境保護」

- ・ グループの全生産拠点において水リスク調査を実施し、リスクが高いと判断された拠点では水循環システムの構築や節水対策、排水管理など、地域の課題にあわせたプロジェクトを設計、実施し、目標を設定の上、着実な取り組みを進めています。
- ・ 節水性能の高いトイレや水栓金具をはじめ、家庭の漏水を検知し、スマートフォン操作により外出中でも漏水を止める操作ができる「GROHE Sense Guard」など、水まわりに関わる幅広い製品・サービスの開発・提供をしています。また、それぞれの環境性能の定量化を実施し、訴求・拡販を推進しています。



アメリカンスタンダードの「VorMax UHET」は従来のモデルよりも約 20% の節水<sup>※2</sup>ができるトイレです。



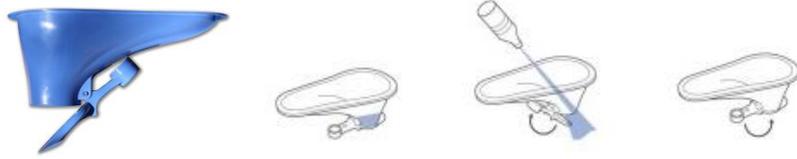
INAX ブランドのキッチン用タッチレス水栓「ナビッシュハンズフリー（エコセンサー付き）」は従来品と比較して、約 31% の節水<sup>※3</sup>ができます。



遠隔制御装置「GROHE Sense Guard」は、スマートフォンのアプリとセットで使うことで、異常を感知すると直ちに通知が届き、水道の供給を止められます。

「グローバルな衛生課題の解決」

- ・ 2020 年までに 1 億人の衛生環境を改善することを目標に掲げ、革新的で低価格な開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」の研究開発、現地での生産・販売体制の構築、雇用促進、インフラ整備や衛生意識改革などを行っています。「SATO」の他にも各市場のインフラ、所得水準、環境的制約などの特性やニーズに合わせた衛生課題へのソリューションを提供しています。



LIXIL が開発したのが開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」。排泄物を流すとカウンターウエイト式の弁が閉まり、ハエなどの虫による病原菌の媒介、及び悪臭を低減する仕組みになっています。

LIXIL グループ 執行役専務 技術担当 兼 CTO 二瓶亮は次のようにコメントしています。「『水』は、トイレ・キッチン・水栓金具などを製造するメーカーである LIXIL のビジネスの中核にあり、これまで、製造過程の節水や排水管理はもちろん、節水性能の高い水まわり製品やサービスの提供を通じて、ステークホルダーの皆さまと一体で活動を進めてきました。その活動が高く評価されたことは誠に光栄です。今後も水に関する活動を進め、地球環境と LIXIL の事業の両方の持続性を高めていきます」

LIXIL グループは、水まわり製品のグローバルシェア NO.1 企業として、さらなる「水の保全と環境保護」「グローバルな衛生課題の解決」に向けて、水資源におけるリスクと機会への取り組みを推進し、持続的な社会の実現に貢献にしていきます。

※1:CDP は運用資産総額 100 兆ドルを有する 800 を超える機関投資家を代表して、企業へ気候変動や水保全の取り組みに関する質問書を配布し、回答データを投資家へ開示する非営利団体です。HP : <https://www.cdp.net/>

※2:アメリカ合衆国環境保護庁 (EPA) 調べ。同庁が推進する WaterSense による 2018 WaterSense Sustained Excellence Award を獲得。参照 : <https://www.epa.gov/watersense/watersense-awards>

※3: (国研) 建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報 (住宅)」における「東京・4 人世帯」の条件にて算出。参照 : <https://www.kenken.go.jp/becc/house.html>

- LIXIL コーポレート・レスポンシビリティについてはこちらよりご覧ください。  
[https://www.lixil.com/jp/sustainability/reporting/pdf/LIXIL\\_CR2018\\_ja.pdf](https://www.lixil.com/jp/sustainability/reporting/pdf/LIXIL_CR2018_ja.pdf)
- CDP ウォーターセキュリティ A リスト、および回答企業のスコアは、以下の URL よりご覧ください。  
<https://www.cdp.net/en/scores>

## ■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在 70,000 人超の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXIL などのブランドを展開する、株式会社 LIXIL グループ (証券コード: 5938) は、2018 年 3 月期に 1 兆 6,648 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について : [www.lixil.com/jp](http://www.lixil.com/jp)、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>